

NORTHERN
Horse Park
NEWS RELEASE
ノーザンホースパーク ニュースリリース



報道関係各位

2024年8月7日

ゲートへと向かう軌跡を象る！彫刻家 堤磐夫氏による新スポット誕生
ディープインパクト ブロンズ像 完成と公開のお知らせ
2024年8月10日（土）9：00～

株式会社ノーザンホースパーク（所在地：苫小牧市 代表者：代表取締役 吉田 勝己）が運営する、北海道の雄大な自然のなか馬とのふれあいを楽しめるテーマパーク「ノーザンホースパーク」は「Brilliant Moments～輝く時間ひととき」をコンセプトにサービスを提供しています。

このたび彫刻家 堤磐夫氏が制作した日本競馬の歴史に燦然と輝く名馬「ディープインパクト」のブロンズ像を、来る8月10日（土）より公開します。



ノーザンホースパークは1989年の開園当初より馬の賢さ・美しさを伝え、日本の馬事文化の普及や引退競走馬のセカンドキャリア支援を目的に運営を行っています。経営母体である「ノーザンファーム」は競走馬の生産・育成を行っており、国内外で活躍する数多くの名馬を輩出しています。ディープインパクトは、ノーザンファームで生産されたサラブレッドです。優れた競走馬、種牡馬として日本競馬史に刻まれ、引退から18年の歳月を経た現在でも競馬ファンに語り継がれる「伝説の名馬」です。

ノーザンホースパークでは、ディープインパクトの遺したレガシーをゲストの皆様とともに追憶できるスポットを数々ご用意しています。ディープインパクト急逝後の2020年に、社台グループの歴史と発展を紹介する施設「ホースギャラリー」内にその功績をたたえる「ディープインパクトメモリアルコーナー」を設置しました。2023年にはディープインパクトの残した衝撃と感動を後世まで語り継ぐモニュメント「ディープインパクトゲート」が竣工し、ノーザンホースパークを象徴する名所となりました。

このたび、新たなディープインパクトへの思いを馳せる新スポットとして「ディープインパクトブロンズ像」を、ノーザンホースパークの中心に位置し、開園当初より親しまれている施設「ディアドブエナビスタ」前にある緑地広場に設置します。緑地広場は今年33歳となったディープインパクトの母ウインドインハーヘアが暮らす「きゅう舎1」に隣接し、「ディープインパクトゲート」に向かって走り抜けるように設置される産駒のブロンズ像を見守ります。

ブロンズ像を制作した彫刻家 堤磐夫（つつみ いわお）氏は、ノーザンホースパークの開園を祝し、社台グループ創業者である吉田善哉のブロンズ像ならびに社台スタリオンステーションに所属した名種牡馬ノーザンテーストのブロンズ像「作品名：Pocket（ポケット）」を制作しています。今年35周年を迎えるノーザンホースパークに同氏の手によって新たな名スポットが誕生します。

ノーザンホースパークは今後も「輝く時間^{ひととき}」をゲストの皆様を提供すべく、豊かな自然環境を守り、人と馬がともに生きる持続可能な社会と、日本の馬事文化への貢献をすべく運営を行なってまいります。

◆ディープインパクト ブロンズ像 概要

【原型制作】 堤磐夫氏

【謹 鑄】 黒谷美術株式会社

【彫刻仕様等】 台座 / H840×1430×550mm 銅像 / H1170×1655×405mm

◆ノーザンホースパークについて

1989年7月より、北海道の雄大な自然と馬の魅力を伝え「輝く時間^{ひととき}」を皆様にお届けすべくテーマパークを運営。総敷地面積48万平方メートルという広大な敷地に約80頭もの馬がゲストを出迎える。競走馬生産育成牧場のリーディングファームであるノーザンファームを母体とし、北海道のサラブレッド生産の歴史や馬の生態を学べる資料館など「楽しむ」だけでなく「学べる」プログラムも展開。また引退競走馬のセカンドキャリア支援や馬の排泄物を利用した堆肥の活用など、事業に基づいた持続可能な社会を目指した取り組みも開園以来行っている。